216 川崎市の二ヶ領用水におけるBOD値の変化と *Chironomus yoshimatsui* の発生変動 (1986~1994)

佐藤英毅 (川崎市衛生研究所)

Population dynamics of *Chironomus yoshimatsui* in relation to BOD of an irrigation ditch in Kawasaki

Sato H.

本市を縦断して流れる二ヶ領用水に、かつては *C. yoshimatsui* 幼虫が多量に発生し、成虫による住民への被害も出ていた。しかし、最近になって本種の急激な減少が認められた。これは、本市の二ヶ領用水浄化事業によってBOD値が低下したためである。すなわち、BOD値が10mg/l以下になったとき、ユスリカ幼虫は底泥100cm²当たり1,000個体以下になり、1地点当たりのライトトラップに捕獲される成虫数は10個体以下になった。その結果、住民からの苦情・相談件数も著しく減少した。ここでは、これらの関係が明確に示された。本市における河川の浄化事業は更に進められているために、この川からユスリカが、従前のように多量に発生することは考えられない状況である。

217 名古屋市の汽水貯木池におけるユスリカ調査

○児島範幸 (名古屋市生活衛生センター)、井上一昭・中川 等
(名古屋市南保健所)

A survey of chironomid midges in a brackish timberpond of Nagoya City.

Kojima N., Inoue K. and Nakagawa H.

今回、貯木池に隣接するゴルフ場練習場からのユスリカの苦情があり、1995年2月から1年にわたり名古屋市南区の貯木池でユスリカ調査を実施した。この貯木池は水門を通して筏溜につながり、そして筏溜は潮の干満により水流が変わる川に通じている。また、貯木池にはゴルフ練習場が隣接している。調査は月に2回実施し、水温、PH、溶存酸素、塩素イオン濃度の測定を行い、そしてスイーピングおよびライトトラップによる成虫の捕集と測定点付近の泥のすくい取りによる幼虫採集を行った。BODについては月に1回測定した。今回の調査ではスイーピングにおいてシオユスリカ *Chironomus salinarius* が5月10日~11月28日に捕集され、特に5月25日と6月23日に多く捕集された。次にイノウエユスリカ *Dicortendipes inoue* が5月25日と6月23日に多く捕集された。ライトトラップにおいて *C. salinarius* が3月10日~11月28日に捕集され、5月25日~6月23日に多く捕集された。また、*D. inoue* は6月23日~7月25日、9月13日と9月26日に捕集され、6月23日~7月25日に多く捕集された。